

第34回 秋田県教育研究発表会

～郷土あきたの教育への提案～

期日：令和2年2月6日(木)・7日(金) 場所：秋田県総合教育センター

日程

開始時刻にゆとりをもたせ、遠方からの先生方も参加しやすくしました！

2月6日(木)	※1日目の受付は、12:30からです。								
	12:30	13:00	13:15	13:20	14:35	14:50	16:05		
	受付	開会式	概要	センター研究発表	移動	口頭発表①②			
2月7日(金)	9:30	10:00	11:15	11:30	12:30	13:30	14:30	14:45	16:25
	受付	口頭発表③④		移動	ポスター発表①	昼食・休憩	ポスター発表②	移動	講演

※冬期間、当センターの食堂は営業していません。お弁当の提供等については、2次案内にてお知らせします
※発表の申込みは9月2日～10月31日、参加の申込みは12月2日～1月17日です。別途御案内いたします。
※プログラムの構成・時間等は変更になることもあります。御了承願います。

センター研究発表

各校における新学習指導要領の全面実施を支える「センター研究」の成果を発表します！

センター研究1

主体的・対話的で深い学びの
実現を目指す授業づくり

冊子「AkitaractiveEye」及びその教科編、「授業づくりカード」、「授業評価シート」を研修講座で活用した成果に基づき、校内研修における有効な活用方法を提案します。

センター研究2

論理的思考力を育む
小学校プログラミング教育の在り方

研究協力校における実践の成果から、児童の論理的思考力を育むために、各教科等の指導における有効な学習活動例を提案します。

センター研究3

感情制御に関する問題行動への
対応における留意点の整理

問題行動の背景の捉え方や対応の仕方について理解を深めるため、研修会の進め方や対応における基本的な考え方、仮想事例のアセスメント例を提案します。

※いずれのセンター研究も、2年計画の最終年次の発表です。

講演

新しい学習評価について最新の情報が得られる絶好の機会です！

講演題：「**新学習指導要領完全実施に向けた新しい学習評価**
—その背景、重要点、留意点—」

講師：中央教育審議会「**児童生徒の学習評価に関するワーキンググループ**」委員
関西学院大学 学長特命・高大接続センター副長・教授

佐藤 真 氏



<プロフィール>

1962年、秋田県横手市生。横手南小・横手南中・横手高校・秋田大学卒、秋田大学大学院教育学研究科修士課程修了、東北大学大学院教育学研究科博士課程後期3年課程単位取得退学。秋田県立学校教員、秋田大学教育学部附属小学校教諭(道徳・総合・研究・教務主任)の後、兵庫教育大学大学院講師・助教授・教授・学長特別補佐、放送大学大学院客員教授等を経て、現職。日本カリキュラム学会常任理事、日本学校教育学会理事、日本生活科総合的学習教育学会理事、日本特別活動学会理事、等。中央教育審議会専門委員、中央教育審議会「児童生徒の学習評価に関するワーキンググループ」委員、文部科学省「学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等」協力者、文部科学省「教育研究開発企画評価会議」委員、文部科学省「研究開発学校」運営指導委員、文部科学省「道徳教育に係る学習評価の在り方に関する専門家会議」委員、文部科学省「生徒指導提要」執筆協力者、文部科学省「学習指導要領解説・総合的な学習の時間編」作成協力者、国立教育政策研究所「総合的な学習の時間における評価方法等の工夫改善に関する調査研究」協力者、独立行政法人大学入試センター「全国大学入学者選抜研究連絡協議会企画委員会」委員等を歴任。2019年4月から(株)ぎょうせい『学校教育・実践ライブラリ』で「連続講座・新しい評価がわかる12章」を連載中。